

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
応用講座6③							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	3期	大隅 祐輝				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
応用分野				座学	1	10	
科目概要							
<p>人体の構造と機能についての知識を再確認し臨床現場で患者さんを診る時に役立てる様にする。 授業中の課題を組むことで、これまで学んできた知識の再確認と理解を行う。</p>							
目標							
一般目標 (GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	人体の構造と機能を学ぶ事で、臨床現場で患者さんを複数の視点から観察出来る様になる為に、「解剖学的知識と生理学的知識」を身に付ける。						
	到達目標 (SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. 頸神経叢・腕神経叢・胸神経の「構造」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 2. 腰神経叢・仙骨神経叢・陰部神経叢の「構造」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 3. 自律神経の「構造と機能」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 4. 血漿成分の「構造と機能」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 5. 細胞成分の「構造と機能」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 6. 止血の「構造と機能」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 7. 血液型の「構造と機能」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 8. 免疫の「構造と機能」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学的知識 (特に神経系範囲) 生理学的知識 (特に神経系・血液範囲)							
教科書・参考書							
解剖学: 改訂2版 生理学: 改訂4版							
受講上の注意							
授業の妨げになる私語には注意すること。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	人体の構造(解剖学的知識)について「脊髄神経(頸神経叢・腕神経叢・胸神経)」			解剖学 P245～250	教科書 筆記用具		
第2回	人体の構造(解剖学的知識)について「脊髄神経(腰神経叢・仙骨神経叢・陰部神経叢)」			解剖学 P251～255	教科書 筆記用具		
第3回	人体の構造(解剖学的知識)について「自律神経系」			解剖学 P256～259	教科書 筆記用具		
第4回	人体の構造(生理学的知識)について「自律神経系構成と調節・反射レベル」			生理学 P39～42	教科書 筆記用具		
第5回	人体の構造(生理学的知識)について「血漿成分」			生理学 P115～117	教科書 筆記用具		
第6回	人体の構造(生理学的知識)について「細胞成分」			生理学 P117～119	教科書 筆記用具		
第7回	人体の構造(生理学的知識)について「止血・血液型」			生理学 P120～126	教科書 筆記用具		
第8回	人体の構造(生理学的知識)について「免疫」			生理学 P127～132	教科書 筆記用具		
第9回	解剖学的知識(神経系)の総復習 生理学的知識(自律神経と血液)の総復習				教科書 筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
osumi@nihonisen.ac.jp							